

平成23年度第3回千葉県図書館協議会議事録（要録）

- 1 日 時 平成24年3月21日（水）  
午後2時00分から午後3時30分まで
- 2 場 所 千葉県立中央図書館 講堂
- 3 出席者 (委 員) 岩 澤 健 一 川 津 敏 子  
佐 藤 宗 子 島 崎 喜 明  
竹 内 比 呂 也 永 野 慎 護  
本 吉 貞 夫 森 山 薫  
湯 目 千 津  
(生涯学習課) 浅 岡 裕 社会振興室主幹兼室長 他1名  
中央図書館長 高 石 卓  
西部図書館長 江 澤 義 夫  
東部図書館長 森 田 幸 三  
他10名  
(傍 聴 者) なし

4 議 題

- (1) 「千葉県立図書館の今後の在り方」について（報告）  
(2) 平成24年度県立図書館事業計画（案）について  
(3) 平成24年度図書館サービス評価指標（案）について  
(4) その他

会議開会宣言の後、図書館協議会会議運営規則第6条の規定に基づく会議成立の確認がなされた。

<会議録>

- 議 長 それでは議事に入らせていただきます。  
本日は、報告1件と議事が2件となっております。  
報告(1)の「千葉県立図書館の今後の在り方」について説明願います。
- 生涯学習課 (1)「千葉県立図書館の今後の在り方」について説明。
- 議 長 ただ今の説明につきまして質問ご意見がありましたらお願いします。
- 委 員 図書館システムを新しくするとき、考えていただきたいのが、これまで利用していたことが、システムが変わったことにより逆に不便になってしまうことにならないように、利用者が利用しやすい、より分かりやすく、より簡単になる方向でお考えいただければありがたいです。
- 生涯学習課 図書館では、図書館システムのリニューアルに向けたプログラムの検討を本年度の重点事業に位置づけ取り組んでいるところでございます。御指摘の点も踏まえ、利用者にとって使いやすいシステムとなるよう努力してまいりますのでご期待ください。
- 議 長 県立図書館の司書の確保と育成が挙げられていますが、3館に司書は何名

いますか、また、これをどれくらいにしようとしていますか。

事務局 現在、常勤職員は3館合わせて69名で、そのうち司書の有資格者は36名です。また、嘱託職員は27名で24名が有資格者となっています。

常勤職員については、平成17年度から新たな司書の採用試験がなく、定年退職者等により司書の割合は減少傾向にありましたが、昨年度から司書の採用試験が実施され2名が採用。本年度も2名の司書を採用する予定となっています。

議長 これをさらに増やしていくということですね。

「千葉県立図書館の今後の在り方」についてはこれから冊子にして配布されるのですか。

生涯学習課 すでに、全文を県のホームページで公表しているところです。研修会等では説明時に資料として配布しておりますが、それ以外に、冊子を印刷して配布する予定はありません。

委員 「在り方」を5、6年ごとに見直すとありますが、具体的な目標がないと言っぱなしになりかねないと思います。中長期的な在り方をお示しいただく必要があるのではないのでしょうか。

事務局 この「在り方」に基づいて、来年度、中央図書館の耐震改修の事前調査に入りますが、「在り方」に書かれているサービスが展開でき、図書館の機能強化が図れるような施設として整備してまいりたいと考えています。

議長 長期構想や中期ビジョンは、単年度毎の計画を立て、着実に実行していかないと、どこまで進んだか、どこを見直したら良いかということが目に見えてこない。そういった意味で、ある程度数値目標のようなものを出すことができればわかりやすいと思いますが、いかがでしょうか。

事務局 この後、説明する予定ですが、今回、この「在り方」に沿った形で、来年度の事業計画と図書館サービス評価指標を設定しております。この評価項目に対して数値目標を設定し、毎年その達成状況の評価をしていただく形を考えています。

議長 指標を設定し年度毎に評価して、修正する場合には修正していくということをお願いします。他に何かありますか。

委員 今年度から小学校の学習指導要領が変わり、国や郷土の伝統文化を調べるが増えてきました。「在り方」に千葉県に関する情報の蓄積とありますが、出来ましたら小中学生にもわかるような資料の収集と提供の仕方を検討していただければありがたいです。

委員 子どもの読書活動の推進は、学校図書館が充実して読書指導がきちんと行われれば、もれなくできると思いますが、やはり学校図書館の資料は不十分ですし、親御さんへの指導とかいろいろ考えていくと有資格者で心ある司書が県立図書館にも市町村の図書館にも児童担当として1～2人いるとずいぶん違ってくると思います。

議長 ほかに御意見がなければ、議事に移らせていただきます。

本日の議事は(1)平成24年度県立図書館事業計画(案)についてと(2)

平成24年度図書館サービス評価指標（案）があるようですが、関連があるようなので、併せて事務局から説明願います。

事務局

（1）平成24年度県立図書館事業計画（案）

（2）平成24年度図書館サービス評価指標（案）について説明。

議長  
委員

ただ今の説明につきまして質問ご意見がありましたらお願いします。

「在り方」では千葉県資料の重要性があげられていますが、平成24年度の事業計画では重点項目にないのはまずいのではないのでしょうか。

事務局

千葉県資料についてはこれまでも網羅的な収集に努めており、資料収集の評価指標として入るが、単年度の重点項目とはしていません。

委員

説明いただくとわかりますが、この資料はいろいろな方がご覧になる可能性があるのですが、毎年そうであっても書いておいた方がよろしいのではないのでしょうか。

委員

お願いになるかもしれませんが、特別支援学校の障害のある子どもたちの中で、特に知的障害の場合は図書館に行きにくい状況があります。子どもの読み聞かせやおはなし会などに年齢制限がある場合が多いが、たとえ15歳になっても精神的な面ではそういう楽しみをもっと共有したい子どもたちもいますので、広報の際には「障害をお持ちの方は年齢問わずお越しください」と明記していただくと来やすいと思います。家と学校との往復で社会に出る経験を積まないことには親もなかなか成長できないので、健常者とふれあう機会としても活用させていただきたい。

事務局

ご要望としてお受けしますが、たとえば、生徒たちの集まりに出向いて読み聞かせをやって欲しいというようなご要望にも対応したいと思いますので言ってください。また、特別支援学校の校長会とは、この図書館の書庫の狭隘化もあって一部除籍する資料の活用についても話をしているところです。

議長

障害のある子どもたちも、どんどん図書館に来られるような魅力ある図書館づくりをして欲しいということで、よろしくお願いします。

委員  
事務局

質問ですが、アドベンチャーライブラリーとはどのような事業でしょうか。

中央図書館の事業ですが、図書館の中を案内したり、図書の検索方法や図書館の仕事を紹介したり、図書館の入門講座のようなものです。年1回の開催で10名程度の参加があります。

委員  
事務局

大人も参加できますか。

大人向けには、書庫見学会を月2回、資料検索の研修会を毎週金曜日に行っています。

議長  
委員

他になければサービス評価指標についてはどうでしょうか。

サービス評価指標として、データベース入力件数とレファレンス件数がありますが、「在り方」の中の千葉県に関する資料や情報の蓄積にあげられている電子資料については、指標にどのようにリンクさせていくのでしょうか。

委員

「在り方」には『・・・原資料の適正な保存に努めるとともに、・・・デジタル化をより一層すすめます。』とありますが、たとえば原資料をどういう形で保存していくのかやデジタル化の推進についても指標に入れないとど

うしても漏れていってしまう可能性があると思います。

事務局 和装本や漢籍などの劣化防止や保存については課題となっており、一部の資料は文書館等に移管しております。予算的な問題もあり、目標数値とするには、研究が必要と考えています。資料の電子化については、国の光を注ぐ交付金を活用し、本年度の重点事業としてほぼ終了したところですが、今後は、見えるような形で検討させていただきたい。

議長 おそらく基本項目以外にも、具体的な数字を入れられない目標があるのではないかと思います。

委員 数字は入れるのが難しいとしても、将来予算がついた時の方向性のある程度示しておく方が良いと思います。

委員 基本方針に対して、それをいつまでにとということになりますが、数値化できないものを指標に含めないとするとう漏れてしまう。資料のマイクロ化や電子化についても数字には出せないけれども、そういったところの説明は必要であると思いますので、これは是非、具体的な計画をたてる必要があるのではないのでしょうか。

議長 評価するには具体的な数値があるにこしたことはないですが、計画の進み具合がわかるようにしていただければいいですね。

事務局 それについては、宿題にさせていただき次年度の第1回の会議で報告させていただきます。

議長 よろしく申し上げます。

特になければ、今日の会議はこでれで終わりにしたいと思います。  
議事の進行にご協力ありがとうございました。

以上で、平成23年度第3回千葉県図書館協議会を終了した。